



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 石川製作所

コード番号 6208 URL <http://www.ishiss.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 直山 泰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門長

(氏名) 福田 幸進

TEL 076-277-1411

四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,189	—	△211	—	△212	—	△222	—
20年3月期第1四半期	962	△40.9	△122	—	△133	—	△139	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△4.36	—
20年3月期第1四半期	△2.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	9,047	—	1,405	—	15.5	—	27.49	
20年3月期	9,455	—	1,615	—	17.1	—	31.60	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,405百万円 20年3月期 1,615百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,700	—	△260	—	△290	—	△295	—	△5.77
通期	9,700	12.7	140	—	40	—	30	—	0.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
〔注〕詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	51,159,720株	20年3月期	51,159,720株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	44,583株	20年3月期	44,458株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	51,115,220株	20年3月期第1四半期	51,119,622株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油・素材価格の高騰、米国経済減速の影響を受け、企業収益は減少し、雇用情勢が悪化する中、個人消費も停滞するなど景気の減速感が徐々に強まる厳しい状況となりました。

このような状況の下で、当社グループは受託生産業務の拡大を図るとともに、固定経費の削減、生産の効率化を進めております。

当第1四半期の連結業績につきましては、従前から製品の出荷が第1四半期に少なく第2四半期に多くなる傾向があり、売上高は11億89百万円(前年同期比23.5%増)となりました。

損益面におきましては、受託生産業務の拡大にあたり、工場内の配置換え等の初期投資費用の負担もあり経常損失は2億12百万円(前年同期は経常損失1億33百万円)となり、四半期純損失は2億22百万円(前年同期は四半期純損失1億39百万円)と厳しい決算となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前連結会計年度末に比べ4億7百万円減少し、純資産も2億9百万円減少しました。

これにより自己資本比率は1.6ポイント減少し15.5%となりました。

増減の主なものは、資産の部では現金及び預金の減少15億8百万円、受取手形及び売掛金の減少3億9百万円、第2四半期の売上引当等による仕掛品の増加13億48百万円であり、負債の部では支払手形及び買掛金の増加7億91百万円、短期借入金の減少8億80百万円であり、純資産の部では当第1四半期における損失計上による利益剰余金の減少2億22百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績を踏まえ、前回予想(平成20年5月23日発表)の第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。具体的な内容につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上が期後半へ延期になったこと及び受託生産業務の立上げ遅れの一部を期後半でカバーし、電子部品製造用設備機械の引合増等もあり、修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理の適用)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	314	1,823
受取手形及び売掛金	1,869	2,179
原材料	39	37
仕掛品	3,001	1,652
その他	111	47
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,336	5,738
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,249	1,270
その他(純額)	1,039	1,056
有形固定資産合計	2,288	2,327
無形固定資産	8	8
投資その他の資産		
投資有価証券	1,175	1,155
その他	295	282
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	1,413	1,381
固定資産合計	3,710	3,717
資産合計	9,047	9,455
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,111	1,320
短期借入金	3,525	4,405
未払法人税等	16	22
その他	398	412
流動負債合計	6,051	6,159
固定負債		
退職給付引当金	1,294	1,389
役員退職慰労引当金	103	103
負ののれん	39	42
その他	153	145
固定負債合計	1,590	1,681
負債合計	7,642	7,840

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,533	4,533
資本剰余金	3,140	3,140
利益剰余金	△6,473	△6,250
自己株式	△5	△5
株主資本合計	1,194	1,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	210	197
繰延ヘッジ損益	0	0
評価・換算差額等合計	210	197
純資産合計	1,405	1,615
負債純資産合計	9,047	9,455

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

売上高	1,189
売上原価	1,187
売上総利益	1
販売費及び一般管理費	212
営業損失(△)	△211
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	10
負ののれん償却額	3
受取保険金及び配当金	11
その他	1
営業外収益合計	26
営業外費用	
支払利息	27
その他	0
営業外費用合計	27
経常損失(△)	△212
特別損失	
投資有価証券評価損	4
特別損失合計	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△216
法人税、住民税及び事業税	11
法人税等調整額	△5
法人税等合計	6
四半期純損失(△)	△222

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
I 売上高	962
II 売上原価	826
売上総利益	136
III 販売費及び一般管理費	259
1 出荷運送費	20
2 給料手当	64
3 その他	174
営業損失	122
IV 営業外収益	13
1 受取利息及び配当金	8
2 負ののれんの償却額	3
3 その他	1
V 営業外費用	24
1 支払利息	24
2 その他	0
経常損失	133
VI 特別損失	0
1 その他	0
税金等調整前四半期純損失	134
法人税、住民税及び事業税	6
法人税等調整額	△0
四半期純損失	139

(注)記載金額は百万円未満を切捨て表示しております。